

6年生 総合的な学習の時間 年間実施計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	単元名「つながる、世界の国々とわたしたち」 (70時間)										
	世界の国々に目を向けよう(15時間) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">世界の国々について知っていることを出し合おう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの経験や、ニュースなどから、世界の国々について知っていることを出し合う。 ○一人一国を分担して調べ、新聞にまとめ、報告会を開くという見通しを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">自分の担当の国について調べよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○社会見学で自分の国について、「衣」「食」「住」の3つの観点から調べ学習を行う。 ○クラス内で情報交換の機会を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">「〇〇はこんな国」報告会を開こう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○調べたことを新聞にまとめ、掲示する。 ○クラス内で報告会を開き、世界の国々への理解を深める。 			世界の国々とつながろう(10時間) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">世界の国々の問題点について調べよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○1学期の調べ学習をもとに、学級全体での追究課題を絞る。 ○その問題が起こっている背景、原因、現状などを調べ、クラス内で情報を共有する。 ○外部から講師を招き、問題について教えていただく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">日本に来ている世界の人々とつながろう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○京都や奈良に観光に来ている他国の人とコミュニケーションをとる方法を考え、身に付ける。 ○社会の授業や修学旅行と関連させ、京都や奈良の世界遺産や日本の文化について調べる。 ○修学旅行後、報告会を開き、様々な国の人々と交流した経験を共有する。 			環境学習プログラム (10時間) <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化のメカニズムを知る。 ○二酸化炭素が自然環境に与える影響について考える。 ○「食」について二酸化炭素の排出を減らすために、自分たちにできることを考える。 ○世界の環境問題や日本の環境問題について知る。 				
	国際理解(35時間) <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介や簡単な日常会話を身に付ける。 ○他国の人にあいさつをしたり、簡単なインタビューを行ったりすることで、世界の人々とのつながりを感じたり、日本の魅力を再発見したりする。 										
教科との関連	国語 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	国語 「問題を解決するために話し合おう」	道徳 「ブータンに日本の農業を」	英語活動 「自己しょうかい」「日本へようこそ」	道徳 「エルトゥール号ー友好の始まり」	社会 「世界の中の日本」	理科 「生物と地球の環境」	家庭 「共に生きる生活」			

子供の思いや実体験を重視した展開

1学期は世界について広く目を向けさせ、いろいろな国があることに興味を持たせるとともに、子供の中から生まれる疑問や問題意識を大事にしていきたい。また、2学期は他国の人々と実際にコミュニケーションを図ることで、世界とのつながりを実感したり、世界から見た日本について学んだりする活動を展開していきたい。